

**校種：高校 第1学年**

**教科：情報科**

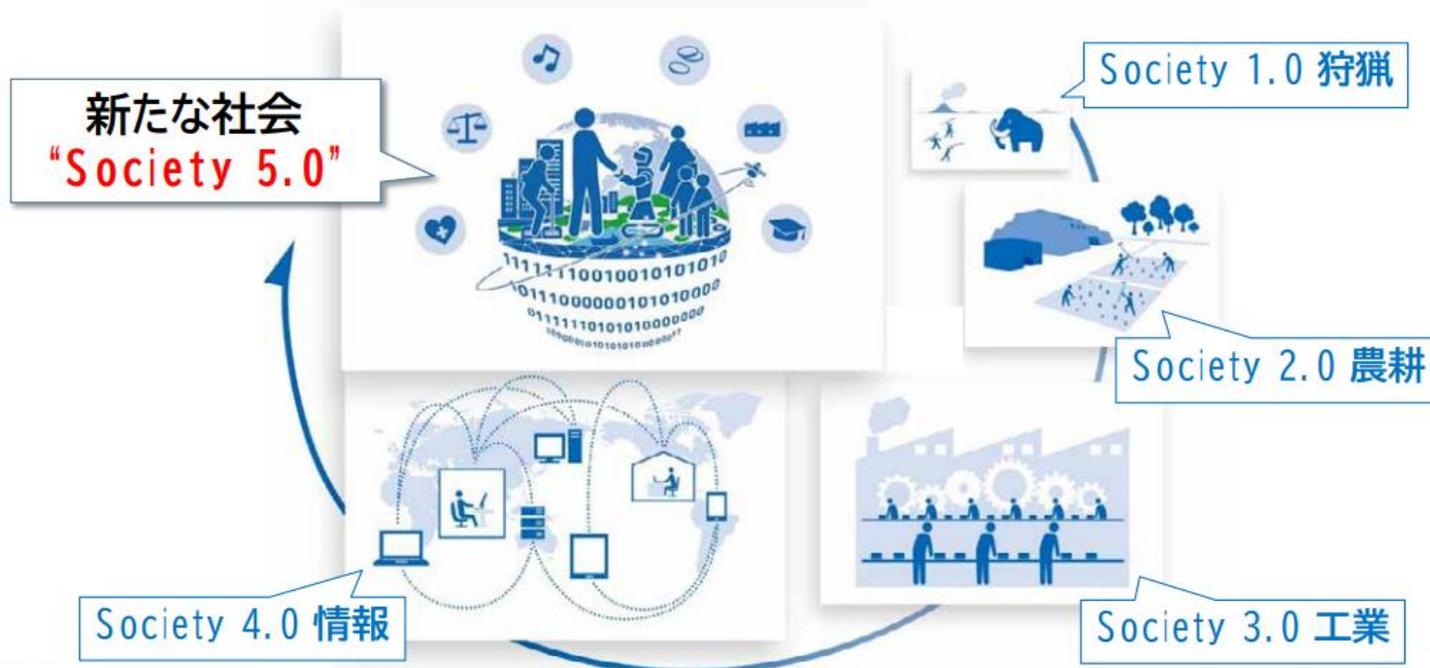
**単元名 「情報デザインと  
コンテンツ制作」  
(3/13時間)**

# 視点1 「持続可能な社会の創り手」との関連

**情報活用能力**は、現代の**情報社会**及び我が国が目指す未来社会の姿である**Society 5.0**において必須となる素養。

【学習指導要領解説 情報編 P19】

【Society 5.0に向けた人材育成 文部科学省】



# 視点1 「持続可能な社会の創り手」との関連

## 情報科の目標

情報活用能力を確実に身に付けさせる

具体的な問題の発見・解決を行う学習活動

## 情報と 情報技術

- ▶ 活用するための知識と技能
- ▶ 適切かつ効果的に活用するための力
- ▶ 情報社会に主体的に参画する態度

## 視点2

# 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に捉えた学習活動

## 個別最適な学び

### 指導の個別化

教科書、Web検索  
動画視聴など、  
**自分に合った方法**  
で学ぶ。

「1人」「ペア」  
「グループ」など、  
**自分が学びやすい**  
**形態**で学ぶ。

### 学習の個性化

**自分の興味・関心**  
を基に学習のテーマ  
を選択する。

学んだ知識・技能  
を活用し、興味・関心  
に基づいた**探求**  
**的な学習**を行う。

## 協働的な学び

実習(Webページ  
制作、動画制作など)  
で、**グループ**による  
**共同作業**を行う。

難易度の高い課題  
で、**ペアやグループ**  
で**学び合い**ながら、  
協働的に取り組む。

## 視点3

# 個別最適な学びと協働的な学びの 学習活動に応じたICT活用

## 学習の見通し

**授業の流れ**や**課題**、**評価方法**などをICTを活用して**事前に生徒に提示**して共有。



## 視点3 個別最適な学びと協働的な学びの 学習活動に応じたICT活用

### 教材のデジタル化

授業用のノートやプリントをデジタルノートアプリやプレゼンテーションソフトなどを活用してデジタル化する。



## 視点3 個別最適な学びと協働的な学びの 学習活動に応じたICT活用

### Web検索 & 動画視聴

用語などをインターネットで検索したり、インターネット上にある授業に関連した動画を視聴したりする。



### 視点3

## 個別最適な学びと協働的な学びの 学習活動に応じたICT活用

### まとめ&発表

調べたことなどをまとめて発表する場面で  
プレゼンテーションソフトを活用する。



## 視点3 個別最適な学びと協働的な学びの 学習活動に応じたICT活用

### 共同編集

Webアプリの**共同編集機能**を活用して、  
グループで**作品制作**を行う。



## 視点4 個別最適な学びと協働的な学びを 一体的に位置付けた授業デザインの構想

### 単元「情報デザインとコンテンツ制作」の構想例

- ▶ **情報デザイン**をテーマとした全13時間。
- ▶ **単元前半**は**指導の個別化**を意識した授業。基本的な知識と技能の習得を目指す。
- ▶ **単元後半**は生徒の興味・関心に基づいた**学習の個性化**を意識した授業。グループによる作品制作などの**協働的な学び**を通して、深い学びにつなげる。

# 視点4

## 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に位置付けた授業デザインの構想

### 単元「情報デザインとコンテンツ制作」の構想例(授業例)

単元名：1 学年「情報デザインとコンテンツ制作」 13 時間扱い					
流れ	本時の流れ（第3時/13時間）	指導の個別化	学習の個性化	協働的な学び	ICTの活用
導入	1 学習課題と目標を確認する。 (1) 学習用端末にログインし、本時の目標及び流れ、学習課題等を確認する。				
	(2) ピクトグラムの特徴や役割についての説明を聞き、文字だけの場合や図で示した場合の例などから考える。				
展開	2 ピクトグラムの案を考える。 (1) 情報デザインを意識し、教科書やインターネット等を参考にピクトグラムの案を考える。				
	(2) 隣同士や友人同士で話し合い、お互いの考えを参考にしながら作成するピクトグラムの案を決定する。				
	3 ピクトグラムを作成する。 (1) 決定した案を基にプレゼンテーションソフトを使ってピクトグラムを作成する。				
	(2) ピクトグラムの作成の意図などをピクトグラム作品と同じファイルと一緒にまとめて、授業チームに保存する。				
	(3) 提出されたピクトグラムについて、Forms を活用してクラス全体で相互評価を行う。				
	(4) ピクトグラムの相互評価を各自で確認して、相互評価を基に作品の改善を行い、再提出する。				
まとめ	4 本時のまとめと振り返りをする。 (1) ピクトグラムを作成することで分かった事をまとめる。				
	(2) 本時の学習を各自で振り返り、次時につなげる。				

▶ 本単元の第3時  
ピクトグラムの作成  
の授業例。

▶ 学習の個性化に重点  
を置いた授業。

# 視点4

## 個別最適な学びと協働的な学びを 一体的に位置付けた授業デザインの構想

### 単元「情報デザインとコンテンツ制作」の構想例(授業例)

単元名:「情報デザインとコンテンツ制作」(13時間)					
	本時の流れ(第3時/13時間)	指導の個別化	学習の個性化	協働的な学び	ICTの活用
導入	1 学習課題と目標を確認する。 (1)学習用端末にログインし、投稿された内容から本時の目標及び流れ、学習課題等を確認。	主  見通し			 デジタル
	(2)ピクトグラムの特徴や役割についての説明を聞き、文字だけの場合や図で示した場合の例などから考える。	主  興味喚起			 デジタル

導入

- ▶ Teamsで本時の目標、流れ、課題などを確認。
- ▶ 教師によるピクトグラムの特徴や役割などの説明。

# 視点4

## 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に位置付けた授業デザインの構想

### 単元「情報デザインとコンテンツ制作」の構想例(授業例)

単元名:「情報デザインとコンテンツ制作」(13時間)					
	本時の流れ(第3時/13時間)	指導の個別化	学習の個性化	協働的な学び	ICTの活用
展開(始め)	2 ピクトグラム案を考える。 (1)情報デザインを意識しながら、教科書やインターネット等を参考にピクトグラム案を考える。				
	(2)隣同士や友人同士で話し合い、お互いの考えを参考にしながら作成するピクトグラム案を決定する。				

- ▶ 情報デザインを意識しながら、ピクトグラム案を考える。
- ▶ 隣同士や友人同士で話し合い、ピクトグラム案を決定する。

# 視点4

## 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に位置付けた授業デザインの構想

### 単元「情報デザインとコンテンツ制作」の構想例(授業例)

単元名:「情報デザインとコンテンツ制作」(13時間)					
	本時の流れ(第3時/13時間)	指導の個別化	学習の個性化	協働的な学び	ICTの活用
展開(中〜後半)	3 ピクトグラムを作成する。 (1)決定した案を基にPowerPointを使ってピクトグラムを作成する。				
	(2)ピクトグラムの作成の意図などをピクトグラム作品と同じファイルと一緒にまとめて、Teamsに保存する。				
	(3)提出されたピクトグラムについて、Formsを活用してクラス内で相互評価を行う。				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ PowerPointでピクトグラムを作成。</li> <li>▶ 作成の意図などと一緒に保存し、提出。</li> </ul>				

# 視点4

## 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に位置付けた授業デザインの構想

### 単元「情報デザインとコンテンツ制作」の構想例(授業例)

単元名:「情報デザインとコンテンツ制作」(13時間)					
	本時の流れ(第3時/13時間)	指導の個別化	学習の個性化	協働的な学び	ICTの活用
展開 (中々後半)	<p>▶ Formsを活用してクラス全体で相互評価。</p> <p>▶ 相互評価を基にピクトグラムを改善し、再提出。</p>				
	<p>(3)提出されたピクトグラムについて、Formsを活用してクラス全体で相互評価を行う。</p>				
	<p>(4)ピクトグラムの相互評価を各自で確認し、相互評価を基に作品の改善を行い、再提出する。</p>				

# 視点4

## 個別最適な学びと協働的な学びを 一体的に位置付けた授業デザインの構想

### 単元「情報デザインとコンテンツ制作」の構想例(授業例)

単元名:「情報デザインとコンテンツ制作」(13時間)					
	本時の流れ(第3時/13時間)	指導の 個別化	学習の 個性化	協働的 な学び	ICT の活用
まとめ	4 本時のまとめと振り返りをする。 (1)ピクトグラムを作成することで分かった事などをまとめる。				
	(2)本時の学習を各自で振り返り、次時につなげる。				

まとめ

- ▶ ピクトグラム作成で気づいた事などをまとめる。
- ▶ 本時の学習の取り組み方などについて振り返る。